

『斜陽』

- 没落貴族の悲哀と変容
  - 戦後の混乱期が舞台
    - 没落貴族の家族を描く
  - 登場人物
    - 
      主人公かず子（野性の田舎娘）
    - 
      母（結核ながら優雅さ保つ）
    - 
      弟の直治（薬物に溺れる）
- 恋と革命
  - かず子
    - 「人間は恋と革命のために生れて来た」
    - 小説家の上原との不倫関係
  - 
    「革命」
    - 古い価値観や社会制度への挑戦
    - 新時代を生きる決意
    - シングルマザーとして生きる
  - 苦悩や葛藤
    - 戦後の混沌社会での人生の模索
    - 未来へ向かって歩み出す勇気
- 現実とフィクションの融合
  - 当時の時代の空気を巧みに表現
  - 「斜陽族」の流行
    - 戦後、没落した貴族
    - 
  - リアリティの追求
    - 物語に事実を盛り込む
    - ・生家の没落
    - ・愛人の日記など